

平成29年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 共助社会づくり課

担当名: 担い手支援担当

内線: 2828

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B4	企業との連携による共助推進事業			一般会計	総務費	県民費	県民活動推進費	共助による地域のきずなづくり推進費	
事業期間	平成28年度～ 平成29年度	根拠法令	なし			宣言項目 分野施策	061454 多様な主体による地域社会づくり		
1 事業の概要 協定を締結した金融機関職員のNPO等に対する理解を一層進め、仕事で培った経験やスキルを生かしたボランティア参加(プロボノ)を促す。 また、企業やその従業員も社会の一員であり共助の担い手であるという意識の醸成を図るため、企業とNPO等との協働を促進する。 (1) 会議等経費が見込みを下回ったことによる減額 △380千円 (2) 経費削減による減額 △182千円				5 事業説明 (1) 事業内容 協定を締結した金融機関や企業と協力し、地域の課題解決や地域活性化に取り組むNPO等の活動を支援する取組を通じ、共助の担い手の拡大及び様々な共助の担い手の協働を促進する。 ア 金融機関職員による伴走支援推進事業 400千円(当初 650千円) 金融機関職員が持つ経験やスキルを活用して、NPO法人の運営基盤の強化に役立てるモデル的な取組として伴走支援を行う。 イ 企業とNPO等の連携促進事業 1,435千円(当初1,764千円) ・県がつなぎ役となって企業とNPO等を連携させ、民間の発想とリソースを生かした多様な共助活動を興し、地域の課題解決と活性化につなげる。 ・CSR活動のパートナーを求める企業や助成を行っている企業とNPO等が協働するきっかけづくりを行い、企業とNPO等の連携を促進する。 ウ 共助社会づくりのための活動資金調達支援ネットワークの運営 106千円(当初 139千円) (2) 事業計画 ア 金融機関職員による伴走支援推進事業 6月 伴走支援団体の選定 7月～1月 伴走支援団体選定、伴走支援実施 2月 成果の取りまとめ イ 企業とNPO等の連携促進事業 (ア) 企業発課題解決プロジェクト、マッチング(通年) (イ) セミナー、イベント 7月～1月 経済団体と連携したセミナー等(全4回) 企業が多く出展するイベント(1月) 2月 企業とNPOの共助懇談会 ウ 共助社会づくりのための活動資金調達支援ネットワークの運営(年3回) (3) 事業効果 企業とNPO等の連携が進み、金融機関職員や企業の方々にも共助の担い手としての意識が高まり、企業の方が仕事で培った経験やスキルを生かしたボランティアへの参加(担い手の増加)や寄附、融資に対する理解が促進される(資金調達支援)。 (4) 県民・民間力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 (5) 補正予算の概要 ア 会議等の開催経費が見込みを下回ったことによる減額 イ 経費削減による減額					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.5人=14,250千円									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	補正後の 予算額
決定額	△562							△562	1,991
現計額	2,553							2,553	